

「あんな汚い手を使うなんて、彼は本当に姑息な男だ」の意味は？

今回は言葉の意味の話をしたと思います。まず、クイズです。「姑息」の意味は「ひきょうな」と「一時しのぎ」のどちらでしょうか。「ひきょうな」と思っていたけれど、OB会報でこんな質問をするということは、本当は「一時しのぎ」の意味でしょう、と答えている方の姿が目には浮かびます。その通りです。私も「ひきょうな」だと思っていましたが、それは誤りだそうです。

OB会報の校正作業をしていて、ある熟語を見て「この熟語の使い方は正しいのか？」と疑問を持ち何回も読み直しているうちに、かえって分からなくなってしまうことが多々あります。普段の生活でも「あれ？」と思い、考え始めると泥沼にはまってしまいます。編集委員の職業病(?)です。そんな病気の克服のためにネットで調べることが多くなり、冒頭の質問のページにたどり着いた訳です。

文化庁の「国語に関する世論調査」が毎年実施されています。何か堅そうなイメージですが、結構おもしろいですヨ。この調査で、2000年(平成12年)と2010年(平成22年)に「姑息な」の意味を尋ねた結果、本来の使い方と違う「ひきょうな」の回答がそれぞれ69.8%・70.9%、本来の使い方である「一時しのぎ」が12.5%・15.0%、だそうです。「姑」はしばらく、「息」はやむ、の意味であり、「根本的に解決するのではなく、一時の間に合わせにする・こと(さま)」で、「ひきょうな」は誤った使い方のようにです。更に説明として、次のように載っていました。

「姑息なやり方ばかりで、あいつはひきょうなやつだ」というような言い方は、本来の意味に沿って考えても、全く不自然ではありません。重要なことについて、正面から取り組もうとせず、「一時の間に合わせ」で済ませることに終始すれば、「ひきょう」と見られるのが当然だからです。このように、意味的につながりやすいところがあることで、「姑息」という言葉は「ひきょうな」という意味で用いられるようになってきたのだらうと考えられます。

文化庁では、サイトには「言葉のQ&A」というページを作り、YouTubeにも「ことば食堂へようこそ！」というシリーズ動画を出しています。暇つぶしに結構使えます。ある言葉に疑問を持ったり、色々な熟語に興味を感じた方は、是非我が編集委員会にご参加ください(ご連絡はメールで:kaiho-ywvob@ywvob.com)。言葉を一緒に楽しみましょう！！